

## 1. 目的

沖縄において世界最高水準の教育研究を行うことにより、①沖縄の振興と自立的発展、②世界の科学技術の発展に寄与することを目的とする(沖縄科学技術大学院大学学園法(平成21年法律第76号))。

## 2. 特色

大学院大学の設置主体として学校法人「沖縄科学技術大学院大学学園」を設立。  
沖縄振興の観点から国が財政支援を行う(学園法)。

- ・学部の壁のない組織(単一の研究科・専攻)
- ・5年一貫制の博士課程のみ
- ・教育研究は英語で行い、学生・教員の半数以上は外国人。



### (期待される沖縄振興への効果)

- ・科学技術の国際的な拠点の形成
- ・イノベーション・エコシステムの形成
- ・科学技術に関する人材の育成 等

## 3. 取組状況

※肩書、人数はOISTのHPより

○平成23年11月に学校法人を設立(大学院大学は平成24年9月に開学)。

(学園の理事等)

理事長・学長：カリン・マルキデス(元スウェーデン・チャルマース工科大学学長)

非常勤理事(15名)：ノーベル賞受賞者等の科学者、沖縄振興や大学経営に係る有識者等



カリン・マルキデス  
理事長・学長



キャンパス外観

○教員91名(22の国・地域、外国人64%)を含め、計660名(うち外国人64%)が研究に従事。  
(物理学、化学、神経科学、海洋科学(海洋気候変動含む)、環境・生態学、数学・計算科学、分子・細胞・発生生物学、工学・応用科学の8分野を基礎とする先端的・学際的な研究)(R6.1時点)

○学生287名(54の国・地域、外国人80%)で、累積で137名が卒業 (R6.1時点)。

○教員の評価は、採用時及び原則5年ごとに、外部の評価委員会により世界的に高いレベルの基準で実施。

○平成22年3月に第1研究棟、平成24年6月に第2研究棟、平成27年6月に第3研究棟、令和2年4月に第4研究棟、令和5年4月に第5研究棟を供用開始。

# 令和6年度OIST関係予算

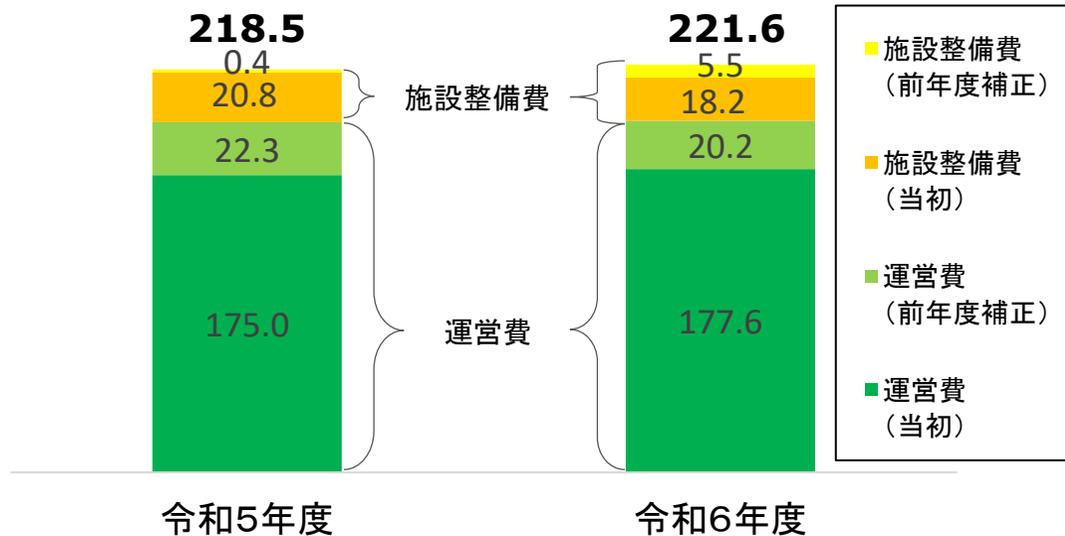
- ・令和6年度予算は195.8億円(対前年度同額を確保)
- ・令和5年度補正予算を含めた総額は221.6億円(対前年度3.0億円増、1.4%増)
- ・スタートアップ創出拠点や研究の基盤となるデータセンターの整備に要する経費を計上

## 令和6年度予算額

令和5年度 予算	令和6年度 予算
<b>195.8億円</b>	<b>195.8億円</b>
(施設整備費 20.9億円 運営費 175.0億円)	(施設整備費 18.2億円 運営費 177.6億円)

(参考: R5補正 25.7億円)

(参考)当初予算+前年度補正予算



## 主な内容

- 第2インキュベータ施設整備費 6.3億円
- 第2データセンター整備費 11.9億円
- 教員(PI)増員(94名→96名) 0.4億円
- 水道光熱費の確保 15.8億円 等



第2・3インキュベータ施設  
(完成イメージ)



データセンター  
(イメージ)